

子育てするならこのまちでプロジェクト

〔与謝野町〕

総事業費8,555千円

事業の概要・背景

【概要】

○小学校の統廃合等により子どもの居場所がなくなる(ことが想定される)地域で、自治会・NPO等が子どもの居場所を提供する「キッズステーション事業」に取り組むことにより、地域コミュニティの維持、定住・移住等の促進につなげける。

【背景】

○集約化に伴い、従来の学区を中心としたコミュニティが縮減。また、統合された小学校が廃校となったことで、子どもの居場所や遊び場も減少。

○子育て世代の支援において、不妊治療や妊娠期の親への支援、産後における母親の健康確保に向けた支援事業が不十分。

主な事業

◇: 交付対象事業
◆: 関連事業

- ◇キッズステーション事業
- ◇子育て支援センター遊具・トイレ等整備
- ◇産後ケアリフレッシュ事業
- ◆協働のまちづくり事業

事業成果指標

- 年間出生数
- 地域で子育てしたいと感じる人の割合
- 保育・教育等施設設置地域

	令和元年(基準値)	令和6年(目標値)
年間出生数	105人	134人
地域で子育てしたいと感じる人の割合	94%	100%
保育・教育等施設設置地域	6地域	9地域

モデル性に係る取組(実現性・継続性・創意工夫)

ポイント

小学校の統廃合が進む地域に、廃校跡等を活用した新たな子どもの居場所「キッズステーション」を開設、自治会・NPO等が主体となって運営することでコミュニティの核を形成

○放課後子ども教室や放課後児童クラブとは異なる「地域キッズステーション」を軸として子どもの居場所づくりに取り組んでいる。

